

ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報

第44回

全国酪農青年女性 酪農発表大会 発表者決定!!

組合が取り組む後継者支援事業（仙台支所管内）

若手後継者の本音／増井友幸さん



酪農トピックス／

山縣泰介さん・片岡寛之さんが全国大会出場（大阪）ほか
栄えある春の叙勲褒章

酪農部だより／全酪連ギフト商品について

日本酪農見て歩紀（山口県山口市 土井真一牧場）



6

2015 June No.597



全国酪農業協同組合連合会

全国酪農青年女性 酪農発表大会

発表者決定!!

全国酪農青年女性会議(半澤善幸委員長)と本会共催の「第44回全国酪農青年・女性酪農発表大会」(7月15日(水)～16日(木)、東京都台東区「浅草ビューホテル」で開催)の予選を兼ねた各地域会議の発表大会が3月から4月にかけて開催されました。酪農経営発表の部、酪農意見・体験発表の部の代表者が決定しましたので、地域大会の審査講評などをもつてご紹介に代えさせていただきます。(全国大会発表順)

経営の部

西日本酪農青年女性会議



岡山県 おかやま酪農協同組合青年部 山縣 泰介さん

消費者の顔が見える
酪農を目指して

平成12年に就農し、経産牛60頭規模で全頭自家育成をしている。繁殖管理は、定期繁殖検診を年に2回実施するなどし、従業員と情報共有をし、発情見落としの減少に努めている。他に乳

質管理についても力を入れており、耕畜連携を活かしつつ高い乳質・乳量を維持している。自身の代に開業したジェラート店を通じて活動の場を広げ、理解醸成の活動にも積極的に取り組んでいる。



北海道酪農青年女性会議

北海道 天塩町 山下 雅博さん

道北地域に根差した
季節繁殖経営を目指して

乳業メーカー勤務から新規就農し、季節繁殖を取り入れた集約放牧の徹底に力を入れている。牛の健康を第一に、放牧のメリットを活かしつつ自給飼料の利用率を高め、乳質・繁殖成績も非常に高いレベルにある。地域の仲間とも積極的に情報交換を行うなど、今後さらに期待

できる経営である。平成16年の就農以来、サラリーマン時代より儲かり、夫婦2人で持続可能で、地域条件・資源を有効活用した飼養体系を構築することを目標に取り組んできた結果、まさに目指していた酪農経営を実現している。



九州酪農青年女性会議

鹿児島県 鹿児島県酪農青年会議 延平 健一郎さん

着実な経営発展を目指す
我が家の酪農経営

北海道で学業を修めた後、デนมールで酪農の研鑽を積み、平成16年に就農。着実に増頭し、現在では目標の50頭規模を実現している。その間、自家育成に

る徹底した省力化対策に取り組む。様々な施設を自作することでコストを抑えるとともに、エコキュートなどの新しい機器の導入や柔軟なアイデアの元に日々の試行錯誤に力強い将来性を感じることがで

きる。自給粗飼料の生産拡大はもとより、飼料用米等の自給濃厚飼料にも目を向けながら、収

入と支出のバランスのとれた規模拡大を目指している。



関東甲信越酪農青年女性会議

茨城県 茨城県酪農青年女性会議 郡司 貴大さん

時代と歩む酪農経営を目指して ～地域と夢と仲間たちと～

大学在学中に酪農組合の臨時ヘルパーを経験し、飼養管理技術と知識を習得し、卒業と同時に就農。現在、本人と両親の家族労働で総頭数55頭を飼養している。飼養管理では、暑熱対策や飼槽改善といったカウコンフォート改善やパステライザー導入によって子牛に与える初乳の管理等を行い、作業効率の改善及び

高泌乳牛へのストレス低減に努める。自給飼料については、近所の耕作放棄地を開墾して有効活用し、飼料コストの低減と作業率向上を図る。若手メンバーが中心となって構成された活動に参加し、県内外問わず関係機関等との交流も図り、多岐にわたり活動の場を広げている。



中部酪農青年女性会議

愛知県 ひまわり農協酪農部会 福井 邦仁さん

乳牛を健康に飼うために

フリーバーン、ミルキングパーラー方式にて経産牛100頭規模の経営である。3回搾乳や高

度な飼養管理技術により高品質生乳を生産し、経産牛1頭当たり13,000kg以上を達成して

酪農経営発表の概要（発表順）

	発表者名 (所属会議名)	題 名	耕地面積 (a)	経産牛 飼養頭数 (頭)	分娩間隔 (ヶ月)	搾乳牛1頭 当り年間乳量 (kg)	乳脂率 (%)	無脂 固形分 (%)	体細胞数 (万/ml)	乳飼比 (%)
1	山縣 泰介さん (西日本酪農青年婦人会議:岡山県)	消費者の顔が見える 酪農を目指して	200	60.9	14.7	12,609	3.81	8.89	27.0	63.1
2	山下 雅博さん (北海道酪農青年女性会議:北海道)	道北地域に根差した 季節繁殖経営を目指して	7,710	55.2	12.7	8,357	4.10	8.67	12.2	25.1
3	蒔平 健一郎さん (九州酪農青年女性会議:鹿児島県)	着実な経営発展を目指す 我が家の酪農経営	1,250	48.4	14.2	10,499	3.85	8.72	20.2	50.1
4	郡司 貴大さん (関東甲信越酪農青年女性会議:茨城県)	時代と歩む酪農経営を目指して ～地域と夢と仲間たちと～	1,570	36.5	15.1	9,963	3.77	8.72	17.7	41.0
5	福井 邦仁さん (中部酪農青年女性会議:愛知県)	乳牛を健康に飼うために	0	110.1	13.6	14,624	3.85	8.83	14.6	49.9
6	丹内 良昭さん (東北酪農青年婦人会議:岩手県)	「気が付く」ことの大切さ ～そして、行動と検証～	2,450	28.0	14.1	10,319	3.77	8.76	20.6	40.3

おり、年間所得も経産牛1頭当たり29万円余りと高水準を実現している。細霧装置付き扇風機、エサ寄せロボット、哺乳ロボット、発情発見装置等の導入によりカ

ウコンフォートの向上、省力化を図っている。
今後はモヤシ粕やおからなどの活用も検討している。



東北酪農青年婦人会議
岩手県 岩手中央酪農青年婦人会議 丹内 良昭さん

「気が付く」ことの大切さ そして、行動と検証」

長男の就農意欲を知ったことにより、経営基盤改善に取組む。全酪連のDMSを活用しながら、各専門分野の指導者とともに農場経営改善のみならず、自己意識改革に取組み成果を上げてい

る。また、自給粗飼料生産においては、地域の生産者とともに「出来ることから取組む」を念頭に共同作業体系を再構築し、地域貢献に全力で取組んでいる点が高く評価された。

意見・体験の部

関東甲信越酪農青年女性会議



群馬県 群馬県酪農青年女性会議連絡協議会 小見 幸江さん

「笑顔・挨拶・感謝」

動物好きの小見さんは昭和58年に酪農家の夫と結婚。日々驚きと苦勞の毎日だったが、酪農

作業を通じて牛と向き合い、褒め殺し作戦という独自の飼育方法を見つけ、実践している。酪

農を通して家族と共に幸せな家庭生活を送っていることがひしひしと感じられ、酪農の基本で

ある「牛と密に接することが大切」ということを、改めて考えさせられる内容である。



中部酪農青年女性会議
愛知県 愛知県酪農青年女性部 藤田 千恵子さん

やっぱり牛が好き

小さい頃から動物は好きで、大学卒業前に新聞の求人広告を介してたまたま牧場のアルバイトに入ったのが酪農との出会い。楽しいアルバイトから従業員になっ

持ち前の明るさと気力で乗り越え、牧場勤務は10年となる。続けられたのは「やっぱり牛が好き」だからと気が付き、今では「酪農は楽しい」と自信を持って言えるようになり、いつかは酪農家に嫁ぎたいと願う日々である。



東北酪農青年婦人会議
岩手県 岩手中央酪農青年婦人会議 桜井 善さん

酪農を「楽農」へ

農業高校卒業後、車両整備の専門学校を経て26歳で就農。若手酪農家がメンバーとなって労働負担軽減のための農作業等を請け負い、地域間で協力体制を築いている。桜井さん自身が、

東北酪農青年婦人会議委員を務めながら全国各地の酪友と知見を交わしていくうちに、自分の酪農人生が「楽農」であることを実感してきている。現在は、酪農家3戸からなる有限会社経

営。今後は200頭牛舎に規模拡大し、地域のモデル農場を目標としている。



北海道酪農青年女性会議

北海道 千歳市 竹田 千鶴子さん

～人をつくる～
ひとすじの道で…伝えたいこと

酪農家の娘に生まれてからこれまで酪農ひとすじの道の中で、人とのつながり、人を育てることを大切にしてきた。現在は教育ファーム活動に力を入れ、毎年700名以上のファーム

ムステイ体験を受け入れている。酪農家の減少、生乳不足が続く昨今、酪農に対する消費者理解のための活動を数多く行ってきた功績が高く評価された。



西日本酪農青年女性会議

徳島県 徳島県酪農青年女性会議 片岡 寛之さん

地域とともに
酪農に駆ける夢

大学卒業後、畜産試験場で1年間学び、父の跡を継ぐべく就農。自身が33歳の時、父が60歳を機に定年引退したため牧場を継承する。父の経営スタイルを受け継ぎ、自家牛群から性判別精液を用い、自ら移植するなど改良に熱心である。粗飼料につ

いては、購入主体から自給主体への移行を図り、育成牛と乾乳牛では粗飼料自給率100%を達成する。今後も稲WCSを中心に地域連携を深めると共に、酪農教育ファームを通じて酪農体験・理解醸成活動にも力を注いでいく。

意見・体験発表の概要（発表順）

発表者名 (所属会議名)	題 名
1 小見 幸江さん (関東甲信越酪農青年女性会議:群馬県)	「笑顔・挨拶・感謝」
2 藤田 千恵子さん (中部酪農青年女性会議:愛知県)	やっぱり牛が好き
3 桜井 善さん (東北酪農青年婦人会議:岩手県)	酪農を『楽農』へ
4 竹田 千鶴子さん (北海道酪農青年女性会議:北海道)	～人をつくる～ ひとすじの道で…伝えたいこと
5 片岡 寛之さん (西日本酪農青年女性会議:徳島県)	地域とともに ～酪農に駆ける夢～
6 富安 麻紀子さん (九州酪農青年女性会議:熊本県)	酪農！この愛すべき天職



九州酪農青年女性会議

熊本県 熊本県酪農女性部協議会 富安 麻紀子さん

酪農！この愛すべき天職

受験一辺倒の教育に嫌気がさして農業高校へ編入。卒業後は、挫折を繰り返しながら北海道やアメリカに実習へ行き、帰国後は自分の牛や馬を持ちながら検定員をした。その後、阿蘇の酪農家のもとに牛・馬と共に嫁がれ、夢を叶えた。地域では、草原の

維持や、高校や幼稚園に向き、食育や醸成活動を活発に行っている。今後は、義弟と一緒に農家レストランを作り、消費者に笑顔になつてもらいたいと考えている。また、ホースセラピーやカウセラピー活動により、新しい酪農の可能性を模索している。

組合が取り組む

後継者支援事業

第5回

組合・酪農婦共催の『酪農研修会』

仙台支所管内

今回は、2月に開催された、岩手中央酪農業協同組合（佐々木勲代表理事組合長）での酪農研修会の様子を紹介します。

去る2月22日（日）、岩手県八幡平市『いこいの村岩手』において、岩



研修会の様子



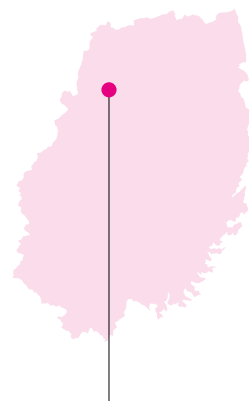
▶岡田望さん

手中央酪農業協同組合と岩手中央酪農青年婦人会議の共催による「酪農研修会」が行われました。組合員はもちろんのこと、その奥の方や若手酪農家の参加もあり、総勢36名で行われました。

研修会では先ず始めに、昨年11月に全国酪農協会が実施した酪農未来塾に参加した岡田望さんから報告がありました。酪農未来塾に初めて参加した岡田さんは、『日本全国から集まった若手酪農家と意見を交わしながら、多様な酪農への

の考えとその取り組み方を学ぶことが出来た』と感想を語っていました。

続いて、本会購買部酪農生産



- 主催
岩手中央酪農業協同組合
岩手中央酪農青年婦人会議
- 参加人数
36名
- 開催者
佐々木勲 代表理事組合長
山中博喜 委員長

指導室課長代理の丹戸靖を講師に、「儲かる酪農経営の仕組み作り」酪農家が経営を持続・発展するために今なすべきこと」と題して講演がありました。講師は、『酪農経営で「どこでお金が出てくるか？」を見極めて、儲かる酪農経営へのプロセスを構築することが大切であり、しっかりとした経営ビジョンを持つことが重要である。』とまとめていました。

参加者は、『若い世代が研修会などで刺激を受け、このように同世代で共有する場が必要』『すぐ聞きやすい講演会だった』と皆様に感想を持たれ、その後行われた懇親会では、参加者同志で今後の酪農経営などについて、意見交換が活発に行われました。

組合担当者は、『次回以降についても青年婦人会議と協議・連携しながら、酪農未来塾のような若手酪農家・後継候補者を中心とした



懇親会の様子

時世に合ったテーマの勉強会や、先進酪農地域への農場視察などをやっていきたい。互いに研鑽し、若手酪農家の育成に繋がるよう、そして皆のやる気が出てくるよう今後も事業を進めていきたい』と抱負を語ってくれました。

儲かる酪農経営の仕組み作り～酪農家が経営を持続・発展するために今なすべきこと～

(研修会資料の抜粋)

①

“儲け”には3つの種類があります

儲けの種類	意味(計算)	用途
(1) 利益	経営の成績 →(売上高-費用)	課税の対象 融資の判断
(2) フリーキャッシュ(FC)	経営が生み出した現金 →(利益+減価償却-育成振替等)	償還余力
(3) 家計で使える現金	可処分所得、経営の繰越 →(フリーキャッシュ-償還-税金)	ライフプラン

どこが増えたと嬉しいですか？

⑤

STEP2 死廃の撲滅

“見える化”して気付きと共有を！
 廃用牛の耳標、廃用日、原因を
 目立つところに張りましょう。
 感情論ではなく、事実の共有を行うことができます。

②

～実行～
 どこでお金が逃げているのか？
 見極めることから始めましょう。
 ～原因によって対処が異なります～

⑥

STEP3 ビジョン

■経営ビジョンを持つ

- ・経営方針……どうやって稼ぐか？
- ・ライフスタイル……酪農との付き合い方

●到達点を設定している牧場は実行力がある。

●ライフスタイルを確立している牧場は稼ぎに関わらず満足度が高い。

●“儲かる酪農”と“満足度が高い酪農”は別物

③

■では、どうすればいいのか？

STEP 1 問題に気づいて……記録
 STEP 2 家族、従業員で共有……見える化
 STEP 3 モチベーションの持続……ビジョン

■経営の変化に気付いていますか？

3

⑦

①理念
 ・経営主の価値観
 ・ライフスタイル
 ～何を実現したいのか？～

経営戦略の土台作り

②家計
 ・子供、教育、家
 ～家計に必要な金額は？～

③牧場の利益
 ①+②で
 必要な利益は？

まずは、自己分析から始めましょう！

④

STEP1 経営状態に“気付く”
 ～青色申告書を工夫してみる～

(1) 経産牛1頭あたり
 ……規模拡大・縮小時及び廃用ロスのシミュレーション

(2) 生乳1kgあたり
 ……生産性のシミュレーション、日々の利益管理

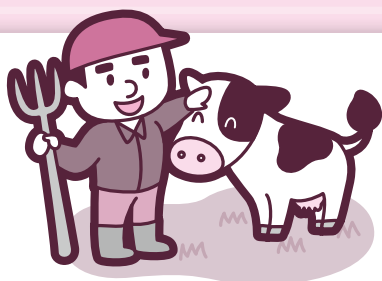
(3) 1人あたり
 ……労働生産性、雇用人数、給与額、レベルは適正か？

DMSでは経営診断を行っています！

⑧

経営継承問題とは？

～経営を奪い取る～
 親は奪い取られることを待っています



若手後継者の 本音 Vol.13

ホンネ

受け継いだ基盤を大切に、 より良い牧場へ 来る経営移譲にむけて日々精進中

今回は、北海道標茶町 渡辺牧場の後継者
増井友幸さんにお話を伺いました。



友幸さん(右)と遥菜さん(左)

〔経営概況〕

所 属 標茶町農業協同組合
家族構成 増井友幸さん、奥様の遥菜さん、お子
さんの蓮斗くん、梓沙さん、お父さん
の渡辺善朗さん、お母さんの京子さん
飼養頭数 経産牛130頭
育成牛120頭程…多和平育成牧場
(町営牧場)に預けている

今回ご紹介する渡辺牧場は、標茶町農業協同組合(高取剛代表理事組合長)に所属し、標茶町北東部に位置する虹別地区で、広大な牧草地に囲まれながら経営を営んでいます。渡辺牧場は、昭和26年に先代が入植し、現在の経営主である渡辺善朗さんが2代目として、現在の経営体系を築き上げてきました。経産牛130頭を飼養しており、育成牛およそ120頭を近隣にある多和平育成牧場(町営牧場)に預託しています。

渡辺牧場の家族構成は、経営主である渡辺善朗さん、奥様の京子さん、娘の遥菜さんの3名で、当時は善朗さんの代で離農を考えておられたそうですが、遥菜さんが結婚され、そのお相手となる増井友幸さんが後継者として就農されることとなりました。

今回は渡辺牧場の3代目となる友幸さんにお話を伺いました。

就農までの経緯を教えてください

実家は、北海道川上郡標茶町字クチヨロ原野にある酪農家でした。実家が酪農家ということもあって、酪農経営に携わることに対しては特に抵抗はなかった様です。

高校卒業後は、標茶町から鶴居村の酪農家まで通い、従業員として約4年間勤めていました。その頃、高校生時代の同級生でもある

◀ 渡辺牧場看板



▶ 牛舎



遥菜さんと再会したことがきっかけで交際をスタートし、平成23年の5月に入籍されました。入籍当時は、渡辺牧場に就農する予定はなかったそうですが、その後、経営者でもあり義理の父でもある善朗さんから後継がなにかという誘いを頂き、同年の8月に後継者として渡辺牧場に就農されました。

就農しての感想

就農当初は、善朗さんが築き上げてきた牧場に自分が手出しをすることに抵抗もあった様ですが、酪農家の従業員として4年間働んだノウハウを生かしながら、着々と作業を引き継いできました。現在では、作業の全般を任されています。また、善朗さんの手です



牛舎内



▲後継者のために建設された自宅



◀趣味のスノーモービル

に基盤が完成していたため、思い切って作業に携わることができたそうです。そのため作業面に対する不安はそれほどありませんでしたが、いざ経営者になるのだと考えると、経営者として必要なスキルは未だ乏しいものだと感じ、不安に思うこともあるそうです。

友幸さんが就農する前は、善朗さんの代で離農を考えていたこともあり、草地や機械設備等にそれほど投資をしておらず、今後は更新が必要になってきます。更新の必要性を感じる度に、善朗さんが築き上げてきた基盤を引き継ぐだけでなく、これから自分が渡辺牧場を継いで経営者になるからには、この牧場をさらに立派なものにしていきたいと考える様になったそうです。

酪農に対する思い

現在の酪農業界は非常に厳しい様に思われていますが、家族経営の魅力や自分自身が社長としてやりたいことをやれるという点は今でも変わらないと仰っていました。

乳量が増えた、経営が良くなってきていると実感できた時はやりがいを感じられます。また、自分の時間を有効に使えるため、趣味に時間を割くこともできます。友幸さんの趣味は、夏は釣り、冬はスノーモービルを乗り回すことだそうです。経営をより良くして、家族にも満足して頂き、趣味にも投資したいと考えています。いずれは高級なスノーモービルを乗り回したいという欲望が今の原動力になっている様です。

今後の目標

現在は、繁殖成績の向上を目標の1つにしており、分娩事故を減らし、分娩後の立ち上がりスムーズにすることを課題に掲げています。そのためには乾乳期の牛の状態、飼養管理が非常に重要だと感じており、なるべく牛舎に顔を出しては母体の様子を伺う様に努めているそうです。

就農して早くも4年目になり、経営移譲についても近い将来の話になってきました。いよいよ経営者としてのスキルアップが問われる時期にも入って来ています。プレッシャーは大きいですが、一つずつ課題を模索し、無駄のない堅実な酪農経営を目指していきたいと考えておられました。

増井さんより

全国の若手後継者の皆さんへ一言！

厳しい酪農情勢が続いていますが、全国に仲間はいます！

お互いに信念をもってがんばっていきましょう！



東京
支所発

「青木農業祭2015」開催される

青木農業祭実行委員会が主催する青木農業祭が、4月18日(土)に青木サッカー場（栃木県那須塩原市）において開催されました。

同会場にて第41回青木ホルスタイン共進会も開催され、40頭を超える出品があり、ジャッジングコンテストが行われました。

当日は飲食物ブースの出店のほか、バター、ピザ作り体験コーナーや、親子対抗牛乳缶レース、スタンプラリーといった一般消費者の方が楽しめるイベントが催され、天気に恵まれた事もあり駐車場に入りきれないほどの多くの家族

連れの来場がありました。

東京支所では、青木TMRセンター製品の紹介を兼ねた出展を行い、訪問頂いた一般消費者の方からは“乳牛が食べる飼料を見るのは初めてです”といった新鮮な声も寄せられました。

心地よい陽気の中で、生産者と一般消費者との交流もみられた賑やかな1日となりました。

第41回青木ホルスタイン共進会の主な結果は下記の通りです。

各賞受賞の皆様、おめでとうございます。

(N.T)

- 経産牛名誉賞：眞嶋大輔 氏（スノーライト ラバンガード グランドスラム号）
- 未経産牛名誉賞：和田 泰 氏（リージェント サンチエス ケリー号）



▲ 多くの飲食物ブースの出店もあり、大勢の一般消費者が来場されました。



▲ ゆるキャラの登場に、子供たちも興奮



◀ 審査員の吉川要氏(南十勝ライブストックマネージメント)による審査光景

第41回青木ホルスタイン共進会入賞者集合写真



牛舎の改善に意欲的に取組まれ、これからも改善しなければならない点が数多くあるそうです。一方、周囲に相談し合える女性後継者がいなく、資金不足などにも不安を感じておられます。困難を乗り越え、ご自身で生産した生乳を使った牛乳やジェラートなどを販売する夢の実現化について発表されました。

酪農経営の部は、今回1名の発表でしたが、審査委員長の平山畜産課長が、山縣さんの繁殖管理、乳質向上並びに耕畜連携の取組み、更には消費者との向き合えるジェラートショップでの活動等を好評され、また、経営面で早期に軌道に乗せられるようアドバイスされました。意見・体験発表の部では、林委員長が発表された

3名の内容について講評し、酪農に対する熱い思い、地域農業者との耕畜連携による粗飼料生産、酪農教育ファームなどを通じて積極的な地域との関わりを評価して、片岡さんを最優秀賞と決定しました。

(S.T)



▲ 質疑応答中の発表者

大阪
支所発

山縣泰介さん・片岡寛之さんが全国大会出場 —「第46回西日本酪農発表大会」開催—

4月23日(木)、鳥取県米子市「皆生グランドホテル 華水亭」において西日本酪農青年女性会議（林浩太郎委員長）主催の「第46回西日本酪農経営発表大会」が120余名の酪友が参集し開催されました。

当日は、三村代表監事の開催宣言に始まり、安達監事が大会統一綱領を参加者と共に声高らかに唱和し、主催者を代表し林委員長が挨拶を行いました。また、来賓に中国四国農政局生産部畜産課 平山雅通畜産課長と大山乳業農業協同組合 幅田代表理事組合長を迎え、ご祝辞を賜りました。

今年度の経営発表の部は、おかやま酪農業協同組合青年部の山縣泰介さんが、「消費者の顔が見える酪農を目指して」と題して、平成12年に就農し、父・正敏さんと共に経営をされています。牧場経営の柱は、まず繁殖成績の向上に取り組んでいます。その内容は、定期繁殖検診を月2回受診し、受胎率の向上に努め、周産期疾病の減少に効果を上げています。また、自家産生乳を使いジェラート販売を行っていることから、乳質向上にも積極的に取り組んでいます。乳房炎と細菌数には特に注意を払い、搾乳牛全頭の乳汁検査を行い、乳房炎感染牛は、原因菌を特定し対策を実施しています。

今後の目標は、乳牛を健康に飼うことは勿論のこと、ジェラート店の経営からさらにチーズの製造拡大へと夢を膨らませています。

意見・体験発表の部では3名の方が発表し、



▲ 発表者4名と関係者一同



▲ 山縣泰介さん



▲ 片岡寛之さん

まず始めに、おかやま酪農業協同組合女性部の宮西恵子さんが「～支え、支えられた30年～」と題し発表されました。美容師から酪農に転職され、お子さんに手が掛からなくなった頃、義母に認知症が発症し大変な介護が始まったそうです。介護生活のなかで酪農仲間が励まし、温かく見守って支えていただいたと当時を振り返られています。今後は、メガファームに勤務するご長男が酪農を継いでくれることを楽しみにされています。

2番目に徳島県酪農青年女性会議の片岡寛之さんが「地域とともに～酪農に駆ける夢～」と題し発表されました。小学生の頃の共進会での思い出が、酪農の道に進むきっかけとなり、大学卒業後は畜産試験場で酪農を学び、就農されました。片岡家の伝統は「60歳定年」です。寛之さんが33歳の時にお父さんが定年引退し、経営主となりました。自家牛群から性判別精液を用い改良に取り組み、また粗飼料の自給体制への移行を図り、稲WCSの共同作業など耕畜連携を積極的に取り入れ、地域の関係者と良好な絆を築かれています。将来の夢は、規模拡大と地域（阿波市）ブランドの確立をしたいとの内容でした。

最後に、大山乳業農業協同組合酪農女性部の板持真侑さんが「今、なに思う」と題して発表を行いました。子供の頃から牛舎でお手伝いをし、獣医になる夢を見るも断念されたそうですが、酪農を深く学ぶ為、帯広畜産大学に進学し、牧場研修を経て就農されました。就農後は

福岡
支所発

むしろびら

蒔平健一郎さん、富安麻紀子さんが全国大会へ！ —「第44回九州酪農発表大会」—

4月23日(木)～24日(金)の両日、九州酪農青年女性会議（小藺千弘委員長）、全酪連福岡支所共催の「第44回九州酪農青年女性酪農発表大会」が、沖縄県那覇市のパシフィックホテル沖縄において、九州沖縄各県の酪友・関係者約150名が参加し盛大に開催されました。

開会式では、小藺委員長の挨拶の後、来賓の農林水産省九州農政局生産部畜産課 松田正勝課長、沖縄県農林部畜産課 長崎祐二課長よりご祝辞をいただき、発表に移りました。

酪農経営発表の部は、蒔平健一郎さん（鹿児島県）、高宮城実一郎さん（沖縄県）の2名が、それぞれの地域、環境における低コスト生産に向けた取組みを力強く発表されました。また、酪農意見・体験発表の部では、鈴木トモ子さん（鹿児島県）、古川美津子さん（佐賀県）、柳本健佑さん（福岡県）、田中武志さん（宮崎県）、富安麻紀子さん（熊本県）、中川安則さん（大分県）、松谷圭一郎さん（長崎県）の7名が発表され、それぞれの熱い想いが伝わる発表に、会場に集まった酪友も熱心に耳を傾けていました。

交流会では、沖縄県酪農農業協同組合の新里重夫代表理事組合長より、ご挨拶と牛乳による乾杯が行われ、和やかにスタートしました。地元沖縄より「エイサー」披露やカラオケ大会も行われ、会場では久しぶりの酪友との再会に、笑顔と笑い声が溢れていました。

2日目には、発表者への質疑応答の後、審査



▲ 質疑応答



▲ 蒔平さん



▲ 富安さん



▲ 松谷さん

講評、褒賞授与が行われました。酪農経営の部の最優秀賞（九州農政局長賞）には、「着実な経営発展を目指す我が家の酪農経営」と題して発表された蒔平健一郎さんが選出されました。田中正仁審査委員長（独）九州沖縄農業研究センター畜産草地研究領域 上席研究員）は、「審査に当たって、現在の経営実績、飼養管理成績、さらに、今日の酪農情勢を踏まえ、経営の安定性・生産コスト低減への努力という視点を重視」し、さらに「酪農経営における所得率が高く、生乳の細菌数や体細胞数などで品質が高く、飼料畑などの活用による循環型酪農の実践と仲間と一帯となって地域を牽引していく活動が高く評価された」と講評されました。

酪農意見・体験の部の最優秀賞（九州農政局長賞）には「酪農！この愛すべき天職」と題して発表された富安麻紀子さんが選出されました。内ヶ島賢勇審査委員長（九州酪農青年女性会議顧問）は、「酪農によって輝いていた点を評価した」と講評を述べられました。また、2つとも全国に持っていきたいと審査員の中から言葉が漏れるほどの発表だったとし、「Challenge！～出来ることは自分でやる！～」と題して発表された松谷圭一郎さんに審査員特別賞が贈られました。

今年度は、九州酪農青年女性会議の発展に貢献された方の功労者表彰があり、内ヶ島賢勇さん（熊本県）、結城五子さん（福岡県）の2名が表彰されました。

蒔平さん、富安さんは、7月の全国大会で九州酪農青年女性会議代表として出場されます。

(K.S)



土井さんご一家と中村係長 ▲

No.265
土井真一牧場
山口県山口市

日本酪農



地域と発展する酪農を目指して

地域の紹介

土井真一牧場の在る山口市は、山口県中部に位置し山口県の県庁所在地であります。人口は約19万人。室町時代に大内氏が本拠とした事で発展し、西の京と謳われました。山口市は南北に長く、南は瀬戸内海、北は島根県と接しており、山口盆地の中央を南北に樫野川が貫き、その兩岸に市街地が形成されています。

土井牧場が所属する山口県酪農農業協同組合（原田康典代表理事組合長）は、正組合員数（生乳出荷戸数）42戸、生乳生産量10,780t（平成26年度）です。

牧場の概況

真一さんのご家族は、ご本人の真一さん（39歳）、奥さんの美香子さん（40歳）、長男瑛斗くん（9ヶ月）、ご両親の博さん（66歳）、和子さん（62歳）の5人家族です。

牧場では、経産牛18頭、育成牛4頭（ジャージー牛2頭含む）、和牛雌牛（繁殖用）1頭を飼育し、イタリアン1.8ha、ソルゴー0.

▶ 土井牧場



3 haの自給粗飼料を作付する上に、他にも地域の農業生産法人との耕畜連携にも積極的に取組んでいます。

飼料作物以外にも、水田1.5 ha、山口県オリジナルの新野菜で、中国野菜のサイシンとブロッコリーを掛け合わせた「はなっこりー」の生産にも力を注ぐなど、農産物生産に積極的に取組んでいます。また、母の和子さんは、牛乳を使ったお菓子作りもされ、土井牧場のチーズケーキとして地元の産直や朝市で販売もしております。



▶ 真一さんご家族

牛舎作業全般は真一さんが行い、父の博さんが圃場作業、母の和子さんが搾乳作業の補助と圃場作業を担当しています。

牧場の歴史

土井牧場の始まりは昭和4年、現在の山口市名田島の干拓地に入植したことがきっかけです。昭和24年に、真一さんの祖父の鉄一さんが北海道から搾乳牛1頭を導入し、スタートしました。当時は山口市名田島の干拓地に30戸の酪農家があり、乳牛は干拓地の耕作作業と土壌改良のため堆肥を入れる必要もあり、飼養されていたそうです。その後、昭和54年に父の博さんが現在の20頭つなぎ牛舎を建てられ、昭和59年にパイプラインを導入し、搾乳作業の効率化を図っておられます（搾乳頭数が20頭以上になった場合は、旧牛舎を活用し25頭まで飼育可能）。

平成8年に真一さんが就農される際、フリーバーンの乾乳、育成舎を建ててましたが、平成20年に真一さんに経営移譲された

以降も、過去の牛舎設備を大切に使いながら酪農を営んでおられます。

自給粗飼料の利用について

土井牧場は自ら、イタリアンやソルゴーの自給粗飼料の作付け、生産を行っております。さらに、地域の農業生産法人と耕畜連携の取組みを行い、耕種農家の畑に堆肥を還元し、その畑で生産されたWCSやソルゴーサイレージを購入するなど、自給粗飼料の生産・活用にも力を入れておられます。



土井和子さん



◀ 牧草地

地域との交流と今後の目標

土井牧場は平成23年度に酪農教育ファームの認証を受けました。真一さんの母の和子さんがファシリテーターとして活動し、現在は県内の小学校で行っている体験学習にも協力しています。今後は牛舎の環境を整え、牛舎への受け入



山口市イベント

れを行っていききたいそうです。また、今後の目標として敷地内にチーズケーキやソフトクリームを販売できる店舗を作り、6次産業への取組みを進め、広く酪農を消費者にアピールしたいとの事でした。現在2頭いるジャージー牛の後継育成牛も、乳製品を作るために岡山県から仔牛の時期に導入さ

れたそうです。

また、真一さんは平成25年に美香子さんとご結婚されており、翌平成26年には、第一子である長男の瑛斗くんが誕生しました。ご結婚が真一さんにとって大きな転機となり、ご家族が増えた事で責任も増し、今まで以上に酪農経営に積極的に取組む決意を感じました。

将来は作業性や労働力を考慮し、フリーバーン方式に飼養体系を変え、搾乳牛は現在の約2倍の、常時30頭搾乳を目標としています。自給粗飼料を十分活用した、適正な規模拡大による酪農経営、環境整備を行うと共に、6次産業化への取組みを進め、酪農教育ファームとしても牛舎への受け入れを

▶ 体験学習



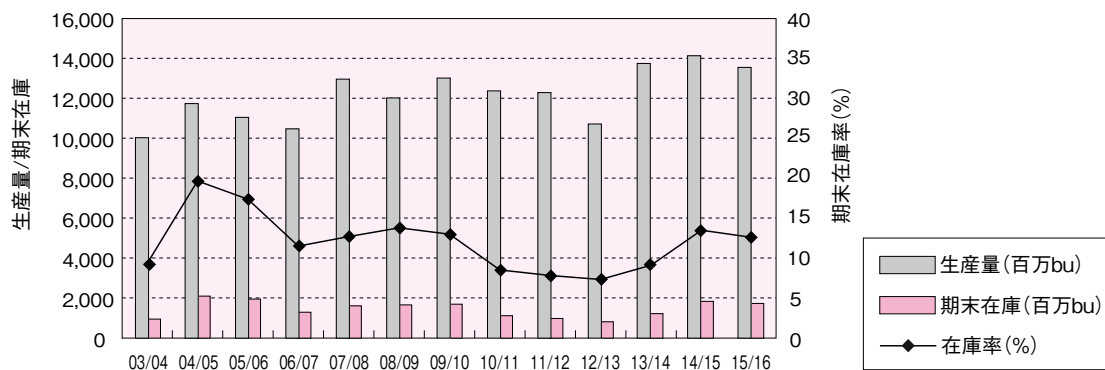
行う日も近いと感じました。今後の展開がとも楽しみで、今まで以上に酪農経営に邁進されるものと期待し、今後の展開をとても楽しみに牧場を後にしました。

(M・N)

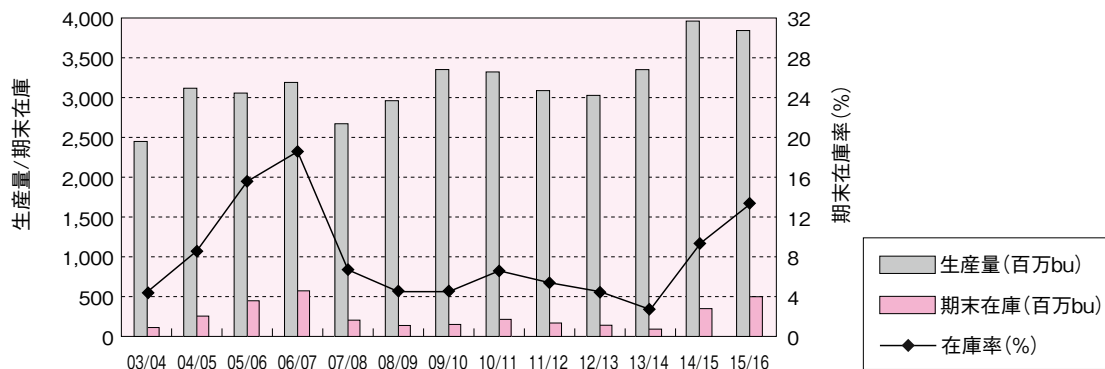
原料情勢 平成27年5月

5月12日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	【14/15年産】 作付面積90.6百万(前月95.4百万) エーカー、単収171.0(158.1)bu/エーカー、生産量142億1,600万(138億2,900万) bu、総需要量136億2,200万(134億5,400万) bu、期末在庫18億5,100万(12億3,200万) bu、在庫率13.6(9.2) %
	【15/16年産】 作付面積89.2百万(前月90.6百万) エーカー、単収166.8(171.0) bu/エーカー、生産量136億3,000万(142億1,600万) bu、総需要量137億6,000万(136億4,500万) bu、期末在庫17億4,600万(18億2,700万) bu、在庫率12.7(13.4) %
トウモロコシ 相場動向	米国内で発生した鳥インフルエンザ影響により飼料需要が伸び悩むとの見方や米国産地で天候に恵まれ順調に作付が進んでいることから軟調に推移、発表前日は360-1/2¢(7月限)で取引を終えている。今後のシカゴ相場は、現時点での新穀は理想的な天候にも恵まれ作付も順調に進んでおり、14/15年度産の在庫も豊富のため需給は緩むと予想されるが、今後は天候相場が続くとみられ注意が必要である。
5月12日発表 米国農務省 大豆需給予想	【15/16年産】 前クロープ対比で作付面積は増加したものの、単収は減少したため、生産量は減少の予想となった。しかし潤沢な期初在庫や、南米豊作の影響で輸出が減少と見込まれたため、期末在庫は5億(3億3,700万) bu、在庫率は13.41(9.94) %と大きな伸びとなった。
大豆粕相場動向	シカゴ大豆相場は、全体的な需給も緩和されることから、軟調な相場展開が期待される(上記参照)が、原油価格の上昇や、天候の影響によって相場が反発する可能性もあるため、注意したい。国内産大豆粕については、食用油自体の需要は低調であるが、大豆は菜種対比で搾油採算が良好なため大豆粕の発生量は増加傾向にあり、こちらも相場の軟化が期待される。
糟糖類	国内産フスマは昨年来、小麦粉の消費低迷の影響を受け発生量は低調に推移してきたが、6月の粉価格改定(小麦粉)で今後値上げが見込まれていることから小麦粉需要が上昇し、一時的にフスマの発生量も増加している。グルテンフィードは、4-6月期が需要期であることから発生量の増加が見込まれたが、天候不順の影響により発生量は低調に推移した。5月以降に晴天が続く、コーンスターチ需要の回復に伴い発生量も増加しているため、価格の軟化に期待したい。
海上運賃	穀物輸送の引き合いが散見されるものの依然として船腹余剰感解消されておらず、上昇要因を見いだせない状況となっている。しかし、一方で原油相場が上昇しており、下値余地も無いのが現状である。今後、海上運賃は横這いで推移していくと見られる。

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移



輸入粗飼料の情勢 平成27年5月

北米コンテナ船 フレート	北米西岸港湾労使交渉は、米国時間の2月20日に仮合意がなされた後、3月30日から4月3日のILWU幹部執行委員会の協議を経て承認を得た。最終決定は、全組合員による批准投票をもって5月下旬に下される予定となっている。港湾作業の平常化に伴い、本船スケジュールは回復してきているが、各ターミナル内に搬出入される貨物量の増加に伴い、スペース不足から荷揚げや実入り、空コンテナの搬入が一部制限されている。また、ターミナル内外におけるトラッカー、シャーシ、空コンテナの不足や貨車の不足は依然として続いており、今後も注意が必要である。
海上運賃動向	4月には港湾状況の回復と同時に海上運賃の交渉が行われ、各船会社運賃一括値上げ（GRI）により\$50～200の値上げが断行された。今のところ、5月以降のさらなる値上げの発表は出ていません。
カリフォルニアの 干ばつ	カリフォルニア州中部からネバダ州の一部に渡って歴史的な干ばつが続いており、これらの地域では作付品目や刈取りの回数等が非常に制限される見込みである。カリフォルニア州の主な貯水池においても、貯水容量に対し半分程度かそれ以下のところが多くなってきている模様。一方で、スーダングラス・クレイグラスの主産地であるインペリアルバレーの灌漑水は、豊富な積雪量のあるロッキー山脈系を水源にもつコロラド川から引いており、水の供給力については問題ありません。
ビートパルプ	【米国産】 全般的に例年に比べ温暖な気候となっており、湿気の強い気候が続くミシガン地区を除き、例年よりも約2週間早い新穀の作付となった。作付面積はやや減少すると見られているが、種子の品種改良が進み単収が増加傾向にあるため、生産量は前年並みと予想されている。しかし、輸入向けの主産地ミネソタ/ノースダコタでのこの半年の降水量が1800年以降2番目に少ないものとなっており、カリフォルニア州程ではないものの干ばつが進んでいる。土壌水分が著しく低い状態での作付が今後の生育にどのような影響を及ぼすのか、非常に懸念される。 中国では米国など複数の国に対し輸入許可に向けた手続きを行っており、数年の間には中国がビートパルプの輸入を開始する可能性が高い。中国が輸入市場に参入した場合、ビートパルプの市場に大きな影響を与えることは容易に想像でき、今後の動きには大いに注視が必要である。
アルファルファ	カリフォルニア州では現在2番刈の終盤になっており、3番刈が開始されるところである。品質的には輸入向けのものが生産されてきており、成分はプレミアムからNo1クラスの生産が増えている模様。新穀のスタート価格については、米国乳価の下落により、昨年の旧穀スタート時より安価で推移している。一方で、穀物相場は低迷しており、国内酪農家は乾草を購入しやすい環境になってくる可能性もある。さらには、エルセントロではNON-GMOの作付が多くを占めており、完全NON-GMOの輸入しか許可していない中国の引き合いが強く、相場はやや強含みの傾向を見せている。
チモシー	【米国産】 コロンビアベースンでの作付面積は70,000～75,000エーカーと微増が見込まれており、天候は順調で、このまま続けは南部の早い圃場では5月下旬から刈取りが開始される。一方、キティタスバレーでは27,000エーカー前後の作付が見込れ微増予想となっているが、水不足が懸念されており、2番刈を断念して他作物への転作、もしくは何も作付せず来年に備える生産農家も増えると思われる。特に転作作物の小麦は、大手メーカーがこの地域での生産を全量契約していることからリスクの少ない換金作物として認知されており、1番刈以降は小麦の生産量が増える予想される。 【カナダ産】 ドライランドである中部クレモナでは降雪不足による土壌水分不足が懸念され始めている。播種スケジュールが早まっているものの、生育時期の水分不足が問題になる可能性もでてきている。今後順調に生育したとして、南部レスブリッジでは7月上～中旬、中部クレモナでは7月中～8月上旬あたりの刈取り開始見込み。カナダドルとUSドルは原油価格と連動しており、仮に原油価格が低調に推移した場合、今後カナダドルも安くなると見られ、そのためここ数年競争力があまりなかったカナダチモシーの需要が高まるとの見方がある。
スーダン	〈4月15日付の作付面積の報告〉前年同月比61%の20,561エーカー（過去5年間では最低の水準）。一方で、デュラム小麦の播種は既に終わっているため、今後はスーダンの作付が回復すると予想される。ただし、インペリアルバレーにおいて早播きスーダンが減っていることは事実で、早播き由来のプレミアム品の供給力はタイトになる可能性はある。
クレイグラス	〈4月15日付の作付面積の報告〉前年同月比95%の16,111エーカー。昨年に比べて作付は減少しているものの、供給量に問題はありませぬ。1番刈はほぼ終了しており、良い緑目のソフトなものが収穫されている。収穫当初から温暖な気候が続いており、2番刈の品質も期待できる。
ストロー類	旧穀の在庫状況は、フェスクとアニユアルライストローの未契約在庫は殆どない状態だが、ペレニアルライグラスストローは未だ未契約在庫を抱えている農家も残っている。価格は、韓国が積極的な買い付けを継続しているため、高止まり傾向が続いている。
オーツヘイ	現段階での在庫状況は、総じて低級品が非常に少なく、中～上級品も徐々に薄くなってきている。年明けからの豪ドル安により価格は軟調傾向で推移していたが、出荷が順調でグレードによっては在庫が不足する可能性が出てきており、今後の価格は強含みで展開と予想される。【東】 作付面積は2014年産と同程度の見込みで、5月下旬から播種開始【南】 2014年比で10%程度減少の作付予想。4月には降雨が観測されており土壌水分も比較的良好な状況である。【西】 ウィートや菜種の相場が堅調なこと、過去数年のオーツヘイの作柄が思わしくなかったことから、新穀の作付面積は20%程度減少すると見込まれている。5月中旬播種開始。

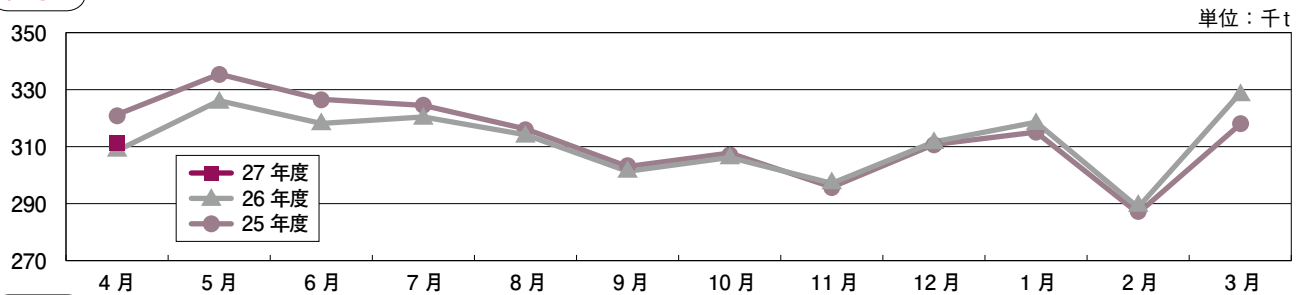
生乳受託販売乳量

受託販売乳量

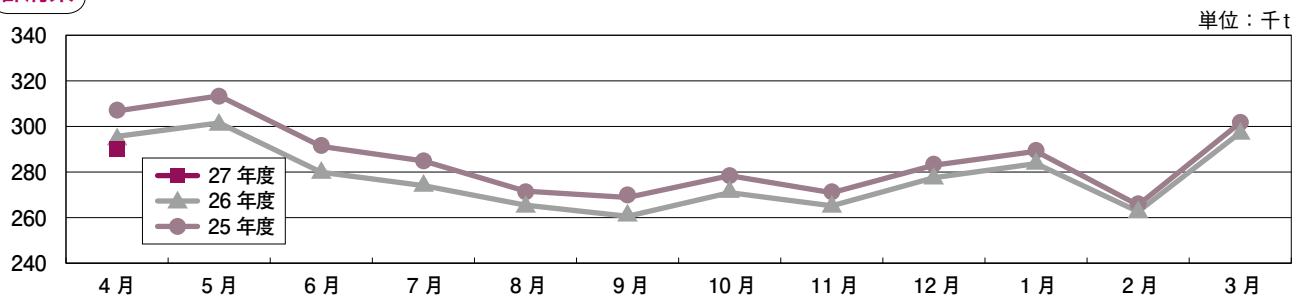
全国 601,602t で、前年同月比 2,634t(0.4%) 減少
北海道 311,255t で、前年同月比 2,659t(0.9%) 増加

都府県 290,347t で、前年同月比 5,293t(1.8%) 減少

北海道



都府県

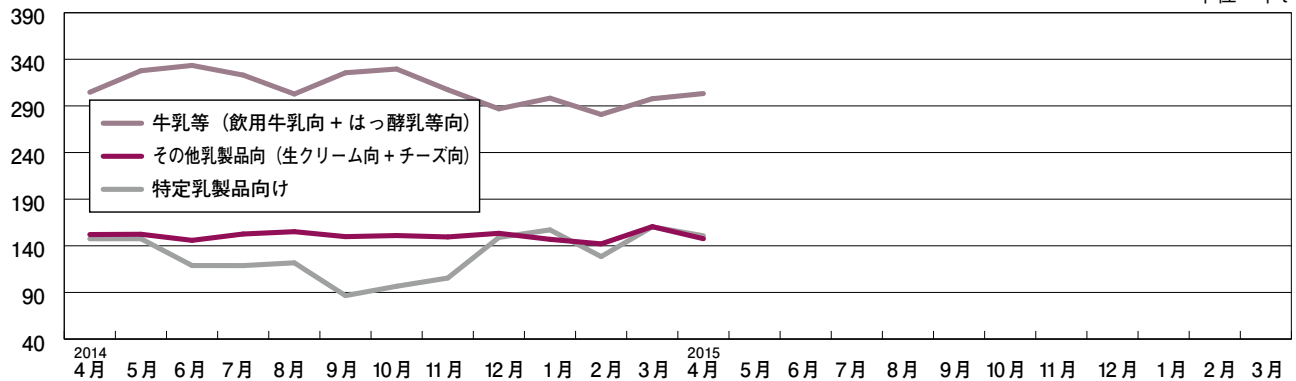


用途別販売数量

飲用向 265,139t で、前年同月比 1,346t(0.5%) 増加
はっ酵乳向 38,096t で、前年同月比 2,737t(6.7%) 減少
クリーム向 112,924t で、前年同月比 1,995t(1.8%) 増加

チーズ向 34,689t で、前年同月比 6,440t(15.7%) 減少
特定乳製品向 150,754t で、前年同月比 3,201t(2.2%) 増加

単位：千 t



各地の需給動向

【東北】4月生産は前年比 97.5%。日量は中旬がピークとなった。学校給食が始まってからは、全体的に飲用需要が高く、価格改定の影響は見られなかった。(飲用牛乳向け 100.8%、特定乳製品向け 70.7%)

【関東】4月生産は前年比 99.2%。日量は中旬をピークに、下旬は微減。月初は販売好調で価格改定の影響は見られなかった。中旬は少し落ち着いたが、下旬は急激な暑さから飲用処理が増加した。(飲用牛乳向け 101.9%、特定乳製品向け 89.3%)

【東海】生産は前年比 96.7%。生産の不調が続いている。処理は価格改定の影響で下旬から不調となっている。(飲用牛乳向け 95.4%、特定乳製品向け 87.8%)

【近畿・中国・四国】4月の生産量は四国がメガファームアウト化により大幅減少(近畿 98.4%、中国 98.3%、四国 93.4%)。価格改定については、卸価格はほぼ値上げ出来たものの、店頭価格に反映が遅れている関係で、処理の減少にはつながらなかった。(飲用牛乳向け前年比：近畿 99%、中国 98.4%、四国 95.1%)

【九州】生産は見込み通りの推移で前年比 99.2%。価格改定はP B品を除いては随所でみられたが、処理にはそこまで影響していない。(飲用牛乳向け 98.9%、特定乳製品向け 90.3%)

用途別生乳処理量

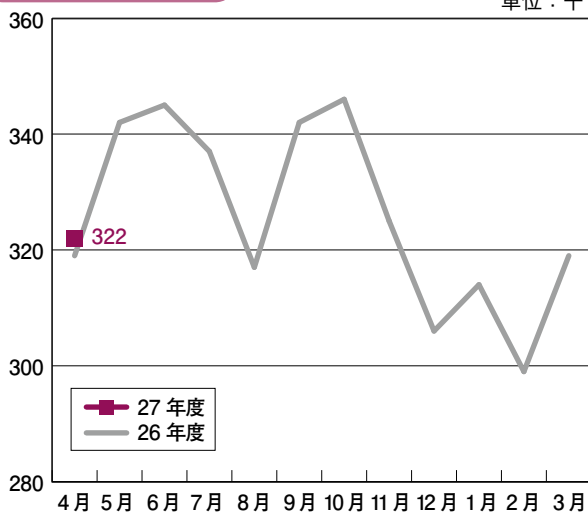
単位：千t

年月	生乳 生産 量	用途別処理量計							年月	生乳 生産 量	用途別処理量計						
		乳製品向									乳製品向						
		牛乳等向 ①	特 定 乳製品向 ②	その他乳製品向				牛乳等向 ①			特 定 乳製品向 ②	その他乳製品向					
				クリーム向 ③	チーズ向 ④	クリーム向 ③	チーズ向 ④										
2014. 4月	627	622	319	303	148	155	112	43	2015. 4月	625	620	322	298	148	150	114	37
5月	650	645	342	303	148	155	112	44	5月								
6月	619	614	345	269	120	149	108	41	6月								
7月	618	613	337	276	120	156	113	43	7月								
8月	600	595	317	278	126	153	111	42	8月								
9月	583	578	342	236	88	148	109	39	9月								
10月	598	593	346	247	100	148	112	36	10月								
11月	584	579	325	254	107	147	112	35	11月								
12月	613	608	306	302	151	152	111	40	12月								
2015. 1月	624	619	314	304	158	146	105	41	2016. 1月								
2月	573	568	299	269	128	142	101	40	2月								
3月	642	637	319	319	159	160	117	43	3月								
年度計	7,331	7,271	3,910	3,361	1,552	1,810	1,324	486	年度計	625	620	322	298	148	150	114	37

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

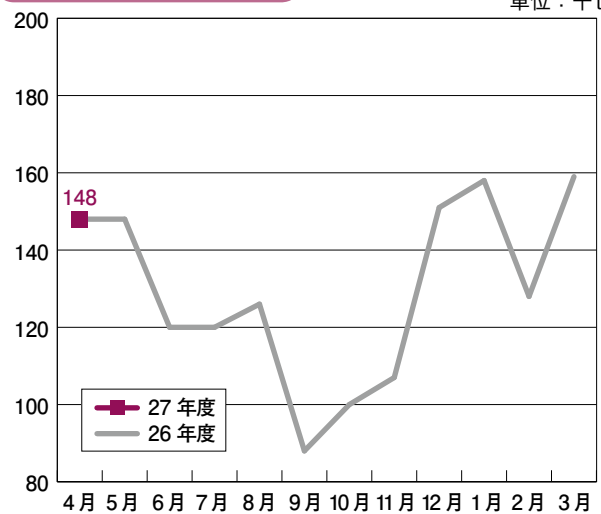
① 牛乳等向処理量

単位：千t



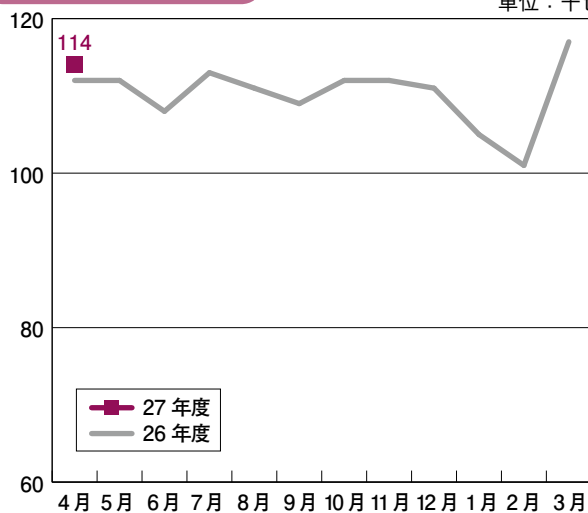
② 特定乳製品向処理量

単位：千t



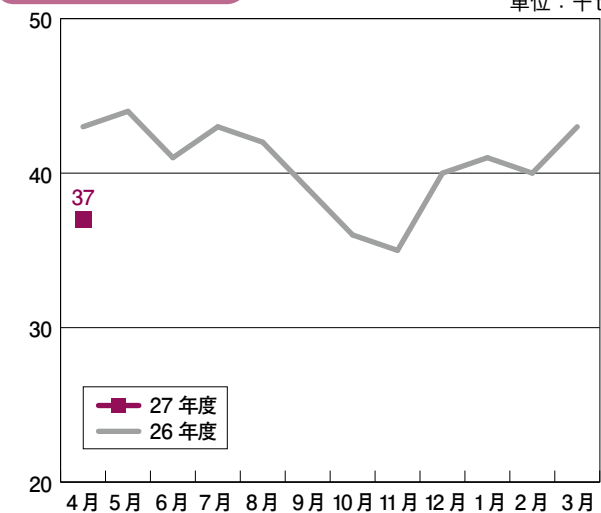
③ クリーム向処理量

単位：千t



④ チーズ向処理量

単位：千t



特定乳製品（脱脂粉乳・バター）の国内生産及び出回り量の推移

※生乳需給動向の指標となる特定乳製品の生産及び消費の動向です。

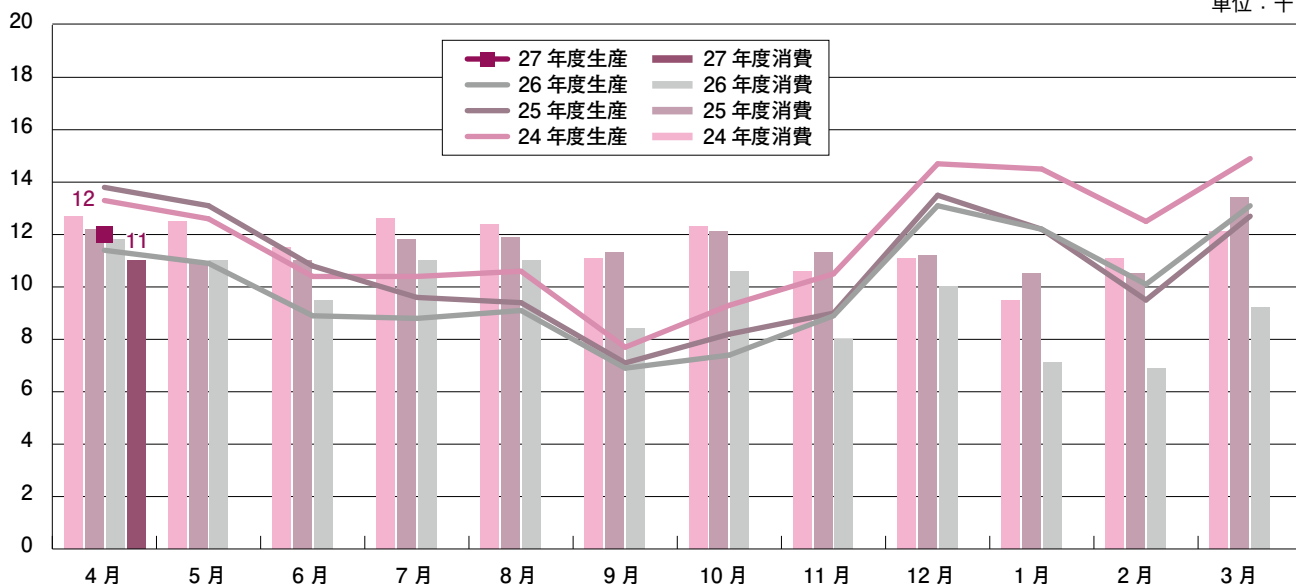
単位：千t

年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量	年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量
2014. 4月	11.4	11.8	6.3	6.4	2015. 4月	12.0	11.0	6.1	5.7
5月	10.9	11.0	5.7	5.0	5月				
6月	8.9	9.5	4.9	4.7	6月				
7月	8.8	11.0	4.7	5.7	7月				
8月	9.1	11.0	4.7	5.2	8月				
9月	6.9	8.4	3.5	3.7	9月				
10月	7.4	10.6	3.9	5.2	10月				
11月	8.9	8.0	4.0	4.0	11月				
12月	13.1	10.0	5.7	5.6	12月				
2015. 1月	12.2	7.1	6.7	4.4	2016. 1月				
2月	10.1	6.9	5.2	5.0	2月				
3月	13.1	9.2	6.2	6.1	3月				
年度計	120.8	114.5	61.5	61.0	年度計	12.0	11.0	6.1	5.7

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ

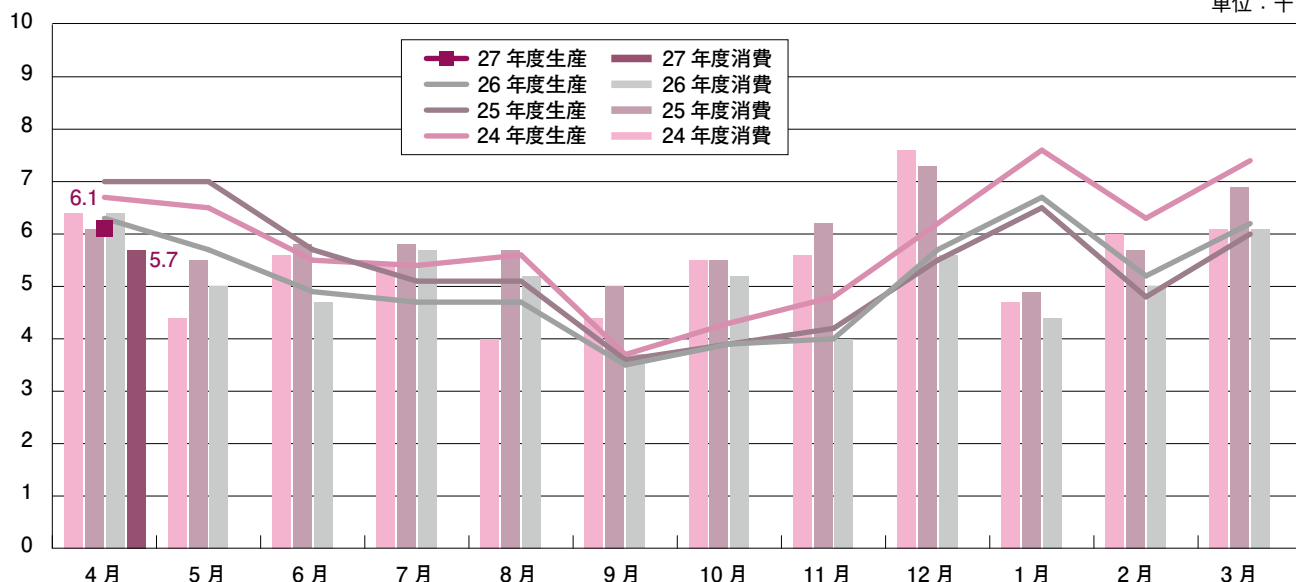
脱脂粉乳の生産及び出回り量推移

単位：千t



バターの生産及び出回り量推移

単位：千t



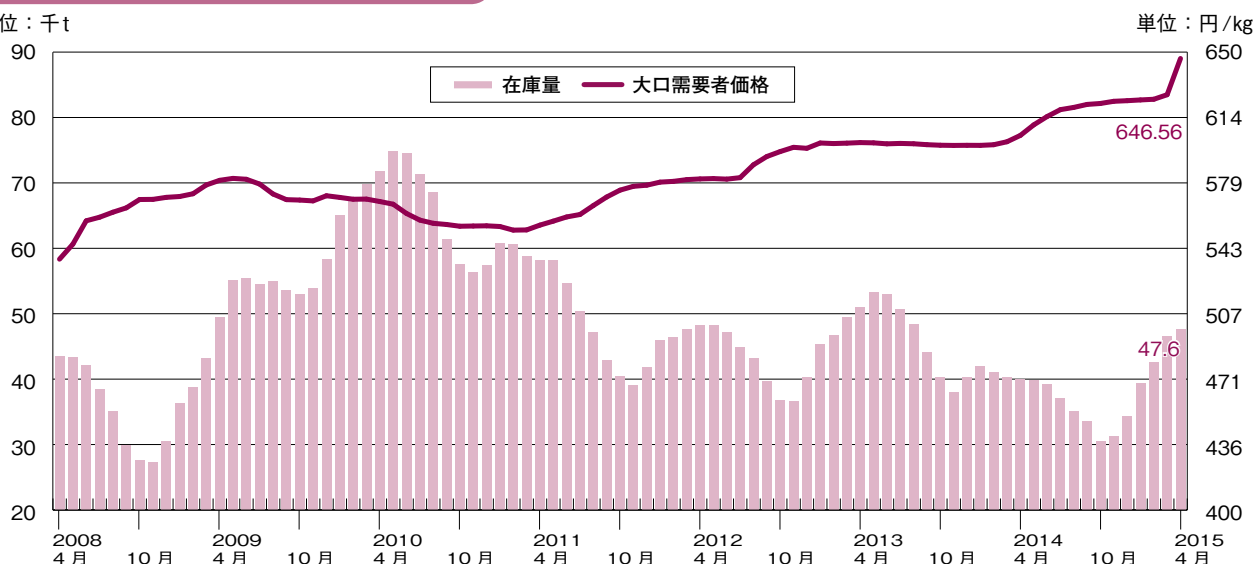
脱脂粉乳・バターの国内在庫及び大口需要者価格の月別推移

区 分	バター		脱脂粉乳		区 分	バター		脱脂粉乳	
	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格		期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格
年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg
2014. 4月	17.2	1,181	39.9	604.56	2015. 4月	18.3	1,273	47.6	646.56
5月	17.9	1,183	39.8	610.30	5月				
6月	18.1	1,186	39.2	614.85	6月				
7月	17.1	1,199	37.0	618.63	7月				
8月	16.5	1,212	35.1	619.85	8月				
9月	16.4	1,208	33.6	621.48	9月				
10月	15.1	1,213	30.4	622.00	10月				
11月	15.1	1,223	31.3	623.19	11月				
12月	15.3	1,223	34.3	623.52	12月				
2015. 1月	17.5	1,222	39.4	623.93	2016. 1月				
2月	17.7	1,222	42.6	624.30	2月				
3月	17.8	1,221	46.5	626.78	3月				
年度計	201.7	—	449.1	—	年度計	18.3	—	47.6	—

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、大口需要者価格

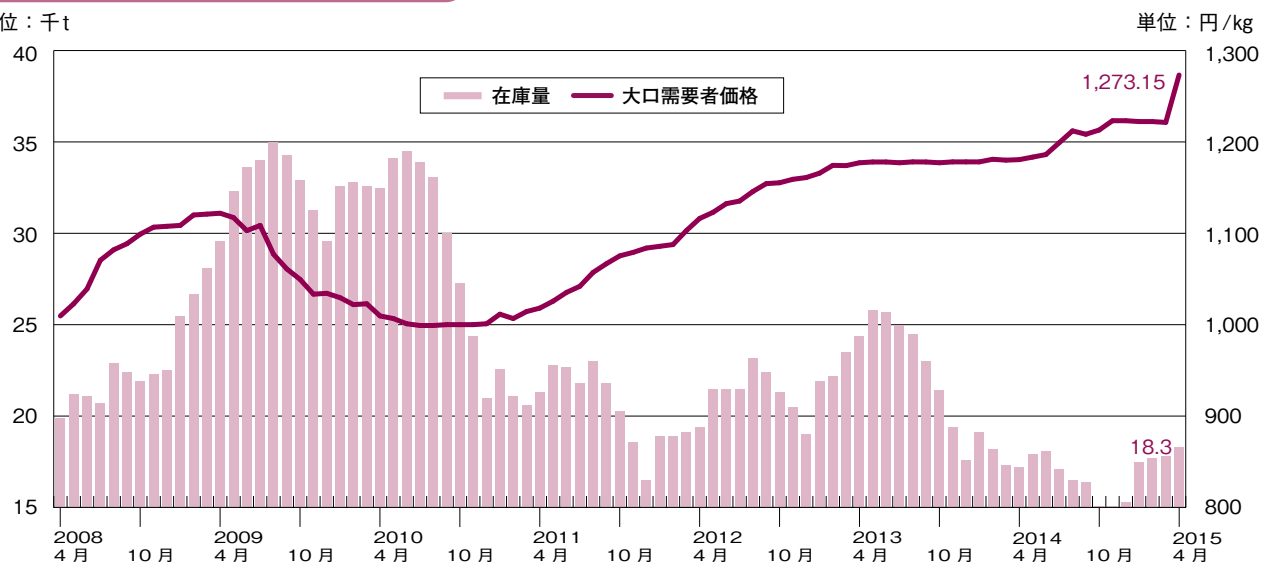
脱脂粉乳 国内在庫・大口需要者価格推移

単位：千t



バター 国内在庫・大口需要者価格推移

単位：千t





麺 noodle



島原手延そうめん

税込3,780円(本体3,500円)

- 手延素麺島原細造り50g(乾麺)×26束
- 〈アレルギー物質〉小麦
- お取扱期間 6/15~8/31



手延技術を駆使して造られる「手延素麺島原細造り」は麺が細くしっかりとしたコシがあり、小麦の風味豊かなので越し良い味わいが楽しめます。

[製造者]株式会社素兵衛屋



全酪めんセット

税込4,104円(本体3,800円)

- 全酪博多冷し中華×10食
- 九州冷し担々麺×6食
- 〈アレルギー物質〉小麦/大豆/りんご
- お取扱期間 6/15~8/31



レモン果汁を配合したさわやかな冷やし中華10食と甘さと辛味を生かした清涼感のあるコクと旨みを有するスープの九州冷やし担々麺6食が入ったセットです。

[製造者]江崎製麺有限公司(福岡県筑後市)

デザート dessert



乳蔵北海道バームクーヘン(メイプル)

税込3,888円(本体3,600円)

- 乳蔵 北海道バームクーヘン(メイプル) ×2個
- 〈アレルギー物質〉乳/卵/小麦/大豆
- お取扱期間 6/15~8/31



北海道産の小麦・生クリームを使用し、ゆっくり丁寧に何層にも重ねて焼き上げたバームクーヘン。メイプルシュガーで香り豊かな甘さに仕上げました。

[製造者]株式会社江戸屋(北海道札幌市)



飛騨アイスギフト VI-PK

税込4,500円(本体4,167円)

- バニラ120ml×2個
- ストロベリー120ml×2個
- 抹茶120ml×2個
- チョコレート120ml×2個
- かぼちゃ120ml×2個
- 紅茶120ml×2個
- 〈アレルギー物質〉乳/卵
- お取扱期間 6/16~8/31



搾りたての生乳と生クリームをたっぷり使った手作りのアイスクリームです。甘さをおさえたまろやかな口当たりとさわやかさが残る風味が特徴です。

[製造者]飛騨酪農農業協同組合(岐阜県高山市)



奥中山アイスSセット

税込4,212円(本体3,900円)

- バニラ130ml×2個
- ドゥ130ml×2個
- 洋なし130ml×2個
- イチゴ130ml×2個

奥中山アイスIセット

税込5,508円(本体5,100円)

- バニラ130ml×2個
- ドゥ130ml×2個
- 洋なし130ml×2個
- イチゴ130ml×2個
- コーヒー130ml×2個
- 抹茶130ml×2個
- 〈アレルギー物質〉乳/卵
- お取扱期間 6/15~8/31



岩手県の奥中山高原で育ったカナディアンジャージー種のミルクを贅沢に使った、コクのあるスーパープレミアムな味わいのアイスクリームです。着色料等を使用せず、自然のおいしさにこだわりました。SセットとIセットの2種類のセットをご用意しております。

[製造者]奥中山高原農協乳業株式会社(岩手県二戸郡一戸町)



長崎カステラセット 2本入り

税込3,024円(本体2,800円)

- 牛乳風味370g×1本
- チーズ風味370g×1本
- ※10等分カットタイプ

長崎カステラセット 3本入り

税込4,104円(本体3,800円)

- 牛乳風味370g×1本
- チーズ風味370g×1本
- 蜂蜜風味370g×1本
- ※10等分カットタイプ
- 〈アレルギー物質〉小麦/乳/卵
- お取扱期間 6/15~8/31



牛乳、チーズをふんだんに使用したカステラはふっくらで、しっとりとしたキメ細やかな生地が特徴です。地域ブランド「長崎カステラ」の認定工場で製造しております。2本入りと3本入りの2種類のセットをご用意しております。

[製造者]有限会社杉谷本舗(長崎県諫早市)

ZENRAKU Summer Gift 2015

毎年恒例の「全酪連ギフトセット」の取り扱い時期となりました。

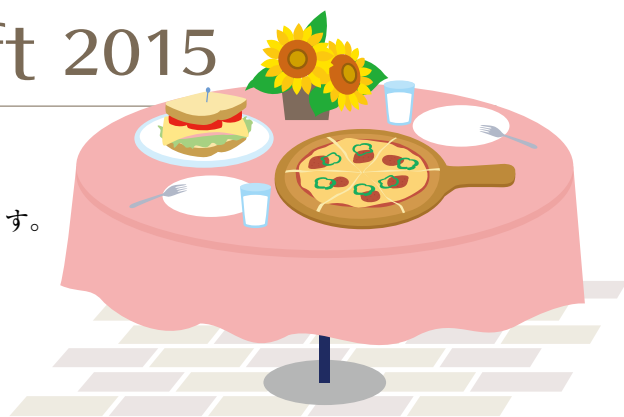
お世話になった方や大切な方への夏の贈り物に、

是非、本会ギフトセットをご利用頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、環境にやさしい簡易包装を採用している商品がございますので、

ご理解とご協力のほど併せてよろしくお願い申し上げます。

お申込みにつきましては、お近くの支所までお問い合わせください。



チーズ cheese



Z-A 税込3,942円(本体3,650円)

- 酪農家チーズ225g×1個
- 酪農家6Pチーズ108g×1個
- 酪農家とろけるスライスチーズ126g×1個
- 酪農家スライスチーズ126g×2個
- 酪農家スモークチーズ120g×1個

(アレルギー物質) 乳

お取扱期間 6/15~8/31

冷蔵

簡易

短



Z-B 税込4,990円(本体4,620円)

- 酪農家チーズ225g×2個
- 酪農家6Pチーズ108g×2個
- 全酪とろけるスライスチーズ119g×1個
- 全酪スライスチーズ119g×1個
- 酪農家スモークチーズ120g×1個
- ぬるチーズ150g×1個

(アレルギー物質) 乳

お取扱期間 6/15~8/31

冷蔵

簡易

短



Z-C 税込5,670円(本体5,250円)

- 酪農家チーズ225g×2個
- 酪農家6Pチーズ108g×2個
- 全酪とろけるスライスチーズ119g×1個
- 全酪スライスチーズ119g×2個
- 酪農家スモークチーズ120g×1個
- ぬるチーズ150g×1個
- パウダーチーズ70g×1個

(アレルギー物質) 乳

お取扱期間 6/15~8/31

冷蔵

簡易

短



東毛酪農 カマンベール3個セット 税込2,830円(本体2,620円)

- カマンベールチーズ100g×3個

(アレルギー物質) 乳

お取扱期間 6/15~8/31

冷蔵

簡易

短

おいしいチーズを作るために厳選した農家の生乳を使い、伝統的な手造りの製法で造られたカマンベールチーズ(ナチュラルチーズ)を熟成した食べ頃の状態まで密封パックしました。パッケージを開けた時が『食べ頃』で、やさしい味わいが楽しめます。「第4回オール・ジャパン・ナチュラルチーズコンテスト」のソフトタイプチーズ部門で優秀賞に輝く、珠玉の逸品です。

〔製造者〕東毛酪農農業協同組合(群馬県新田郡新田町)

加工肉 meat



DLG-420G(2014年金賞セット)

税込4,320円(本体4,000円)

- ペッパーシンケン72g×1個
- ハーブシンケン80g×1個
- 熟成乾塩ベーコン80g×1個
- フライシュケーゼ80g×1個
- 辛口ボチキウィンナー150g×1個
- ほそびきウィンナー150g×1個

〈アレルギー物質〉豚肉/大豆

お取扱期間 6/22~8/8



GT-400

税込4,320円(本体4,000円)

- 熟成糸巻ロースハム360g
 - ばら焼豚200g
- 〈アレルギー物質〉小麦/大豆/豚肉

お取扱期間 6/22~8/8



SP-510

税込5,400円(本体5,000円)

- 熟成糸巻ロースハム320g
 - 焼豚310g
 - ベーコン280g
- 〈アレルギー物質〉小麦/大豆/豚肉

お取扱期間 6/22~8/8



厳選した豚肉を伝統の手法で丹念に仕上げました。一本一本丁寧に糸で巻き風味豊かにスモークしたロースハム、秘伝のタレに漬け込んでじっくり焼き上げた風味豊かな焼豚、豚ばら肉をじっくり漬け込み仕上げたベーコンのセットです。

〔製造者〕大山ハム株式会社



DF-100

税込11,000円(本体10,185円)

- ローストビーフ(和牛)270g×2個
- 〈アレルギー物質〉牛肉/乳成分/小麦/大豆/鶏肉/りんご

お取扱期間 6/22~8/8



焙煎胡椒とドイツ産岩塩でシンプルに味付けして和牛の旨みをそのまま閉じ込めました。和牛に旨みがじっくり詰まった存在感たっぷりのローストビーフです。



OC-40

税込3,908円(本体3,619円)

- 北海道フランク220g×1個
 - 北海道認証ベーコン80g×1個
 - あらびきウィンナー110g×1個
 - ハーブウィンナー135g×1個
 - 行者にんにくウィンナー120g×1個
 - あらびきフランク200g×1個
- 〈アレルギー物質〉乳/豚肉

お取扱期間 6/15~8/31



OC-50

税込5,184円(本体4,800円)

- ペッパーパーク320g×1個
 - 北海道認証ベーコン300g×1個
 - あらびきウィンナー110g×1個
 - ガーリックウィンナー110g×1個
 - バジリコフランク240g×1個
 - あらびきフランク200g×1個
- 〈アレルギー物質〉豚肉

お取扱期間 6/15~8/31



おこっぺハムは、冷涼なオホーツクの大地の中で、北海道産の厳選豚肉のみを使用して、「おいしさ」を最大限引き出せるよう独自の塩漬製法によりじっくりと時間と手間をかけて製造しております。主原料は100%道内産の素材を使い、北海道らしさや将来性を兼ね備えた食品に対して認定される「道産食品独自認証制度」の第1号の認証を受け、「品質＝おいしさ」にこだわった商品作りをしています。

〔製造者〕株式会社オホーツククリーンミート

全国酪農農業協同組合連合会

- 本所 酪農部 〒108-0014 港区芝4-17-5 相鉄田町ビル7F
(東京支所) TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
- 札幌支所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 酪農センター
TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
- 仙台支所 〒980-0021 仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3F
TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384
- 名古屋支所 〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3F
TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
- 大阪支所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10 サムティ新大阪フロントビル6F
TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
- 福岡支所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7F
TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し(お届け先様ご不在、ご移転・転居、受け取り拒否等による)扱いはいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 結合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷凍** **冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易** **全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. **短** **短** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの製斗となります。

栄えある 春の 叙勲 褒章

政府は4月29日、春の叙勲・褒章受章者を発表しました。

全酪連関係者からは、次の方々が受章の名誉に輝きました。

心からお祝い申し上げますとともに、益々のご健闘をお祈りいたします。

●瑞宝小受章●

青沼 明德氏

元 農林水産省畜産局衛生課長
元 日本酪農乳業協会専務
元 全国酪農業協同組合連合会代表理事専務

●瑞宝小受章●

稲継 新太郎氏

元 家畜改良センター新冠牧場長
元 日本ホルスタイン登録協会専務
元 酪農ヘルパー全国協会専務

人事 異動

新	旧	氏 名
■平成27年7月1日付異動発令		
大阪支所 指導組織課長	大阪支所 総務課長	石 津 佳 春
大阪支所 総務課長	狭山工場 総務課長	松 下 裕
購買部付出向 全国酪農飼料株式会社鹿島工場 (所場課長代理待遇)	総務部付出向 (株)ゼフコ 副審査役	朴 眩 鳳
■平成27年7月1日付兼務発令		
狭山工場 次長 兼 総務課長 兼 品質管理課長	狭山工場 次長 兼 品質管理課長	金 野 渉

北海道 乳牛産地情報

平成27年6月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇩……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	27~32	→	札幌管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計99.1%、累計で98.7%、苫小牧管内月計で99.5%、累計で99.4%の実績。6月の初妊牛動向は、8月分娩腹中心となり、相場も季節的なことから弱含みで推移すると思われる。しかし育成農家としては、夏腹は販売に向かないという意識から授精を調整しているため販売頭数が少なく、また酪農家は自家保留の傾向が強いことに加え、近隣の大型農家の導入も重なり、出回り頭数は少ないものと思われる。
	初妊牛	50~56	⇩	
	経産牛	43~48	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	35~38	→	根釧管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で99.9%、累計で100.2%、中標津管内月計で99.9%、累計で99.9%の実績。6月の初妊牛動向は、8月分娩腹中心で取引されるため、通常であれば値下がり傾向となる。ただし、地元の導入が堅調なこと、自家保留の実施などにより出回り頭数が減少する可能性もあり、相場は大きく下がらず堅調に推移する見込み。夏季放牧の時期は牛を探すのに時間を要するため、早めのオーダーをお願いします。
	初妊牛	52~58	⇩	
	経産牛	45~50	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	30~34	→	帯広管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.3%、累計で103.2%の実績。6月の初妊牛動向は、夏分娩腹中心で取引されるため府県からの需要は弱まり、相場も弱含みで推移する予定。しかし、北海道内は夏場の暑い時期でも比較的牛への負担が少ないことから、道内農家、特に大型の農家の需要が集中するため、価格の低下は緩やかになると思われる。また、暑さが弱まり始める8月下旬から9月分娩予定の牛に一気に需要が集中することも見込まれるため、こちらも早めのオーダーをお願いします。
	初妊牛	52~58	⇩	
	経産牛	45~50	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	30~35	⇩	道北管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で100.6%、累計で100.7%、北見管内月計で100%、累計で100.1%の実績。6月の初妊牛動向は、8月分娩腹中心で都府県の需要が少ないが、資源不足のためホル判別腹の希望は増えている。相場は弱含みの推移と予想。一方、経産牛は即戦力として道内大型農家の需要も多く、価格は横ばいで推移すると思われる。
	初妊牛	50~56	↓	
	経産牛	45~50	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	30~38	→	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は100.8%、累計で100.8%の実績。6月の初妊牛動向は、8月分娩腹中心で取引される。通常であれば導入を避ける時期として価格も下がる傾向にあるが、道内の導入が堅調であること、道内外の大型農家の導入が継続して行われていること(新規導入、更新等)、導入助成等による生乳生産維持、また出回り頭数の減少などの理由から大きな価格の下落は無いものと思われる。和牛子牛、F1子牛の高値維持により、初妊牛についても腹内によって価格差あり。大きく取引頭数が動く時期ではないが、資源も減少傾向にあるため、導入予定がありましたら早めの注文をお願いします。
	初妊牛	50~57	⇩	
	経産牛	45~50	→	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

第5回酪農いきいきフォトコンテスト

今月の表紙は、「第5回酪農いきいきフォトコンテスト」(第43回全国発表大会にて開催)で応募いただいた作品(北海道 池田辰実氏 撮影)です。この愛くるしい無邪気な表情にいつまでも引き込まれてしまいます。この子の瞳にはどんな未来が映っているのでしょうか。楽しみです。



▼今年も全国各地で「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーンを開催中です。展開状況については、本会HPに追って掲載していきます。

▼会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

編集後記



平成27年6月10日発行(毎月1回10日発行)

ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報 6月号 No.597

●編集・発行人 徳永 幸男
 ●発行 全国酪農業協同組合連合会
 〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号
 TEL 03-5931-8003
<http://www.zenrakuren.or.jp/>



牛がミルクを出している
北陽幼稚園(北海道)5歳 植村 日萌子

今月の



入賞作品紹介



今月の入賞作品は、北陽幼稚園（北海道）5歳の植村日萌子ちゃん作品です。
簡潔な線で愛嬌のあるかわいらしい牛さんが描けましたね。また牛さんが太陽と一体となっているところがこの絵の最大の魅力です。これからどんな絵を描いてくれるのが楽しみな1枚です。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第41回らくのうこどもギャラリー」で
全国451点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議

主催

全国酪農青年女性会議
全国酪農業協同組合連合会

in 東京



写真提供：台東区

全国 第44回 酪農青年女性 酪農発表大会

平成27年

7月15_水・16_木

日程

7月15日

13:00～13:55 開会式
14:00～16:15 酪農経営発表
16:15～16:25 らくのうこどもギャラリー表彰式
16:40～18:15 酪農意見・体験発表
19:30～21:30 懇親会

7月16日

9:00～ 9:30 酪農経営発表質疑応答
9:30～10:00 酪農意見・体験発表質疑応答
10:15～11:40 審査講評・表彰式
11:40～11:50 閉会式

大会参加費

1名 13,000 円 (大会・懇親会まで)

※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

大会会場・アクセス

会場・宿泊

「浅草ビューホテル」

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1

TEL.03-3847-1111



アクセス

つくばエクスプレス 浅草駅直結
上野駅公園口、スカイツリーシャトル (R)
で約10分 (ホテル前停留所下車)
都営浅草線 / 東武線 浅草駅より 徒歩10分
東京メトロ銀座線 田原町駅より 徒歩7分
首都高速6号線 向島 I.C. または駒形 I.C. 下車
首都高速1号線 上野 I.C. または入谷 I.C. 下車
都営浅草線 浅草駅よりエアポート快速で
新東京国際空港 (成田) まで約65分
※1日2便 (要予約) でホテル～成田空港までのリムジンバス運行あり
東京国際空港 (羽田) まで約35分
※1日8便 (要予約) でホテル～羽田空港までのリムジンバス運行あり



大会事務局

全国酪農青年女性会議

〒108-0014 東京都港区芝 4-17-5 全酪連指導・企画部内 / TEL. 03-5931-8003